

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	化学	学年	第 3 学年	類型	Ⅱ 型理系
単位数	3 単位	教科書	改訂版 化学（数研出版）				
補助教材	「セミナー 物理基礎＋物理」（第一学習社） 「化学基礎・化学実験ノート」（愛媛県高教研理科部会化学部門）						

学習目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第4編 有機化合物	有機化合物の分類と特徴を理解する。 芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンなどの性質や反応について、実験を通して理解する。 反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。	中間考査
	5月	第1章 有機化合物の特徴と分類 第4章 芳香族化合物		
	6月	第2編 物質の変化		期末考査
	7月	第3章 化学反応の速さ 第4章 化学平衡		
2 学期	8月	第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	水のイオン積、pH及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。 繊維や食物を構成している代表的な天然高分子化合物について理解を深める。 合成繊維及びプラスチックなど、身近な合成高分子化合物について理解を深める。	中間考査
	9月			
	10月			期末考査
	11月			
	12月			
3 学期	1月			学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。原子や分子などの非常に小さな粒子について学ぶ際には基本的な概念や原理・法則を理解していくことが必要ですが、単に暗記するだけではなく、なぜそうなるのかを考え、系統立てて学習していくことが大切です。日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	--

	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 観察・実験の技能	④ 知識・理解	⑤
評価の観点	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通理して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの科過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。				